科目	1名	キャリア	プラン I		指導担	当者名	高田 明日香
実務	経験						実務経験:
開講	時期	前期		対象学	科学年		医療事務科1年
授業	方法	講義:〇	演	習:	<b>実</b> 習	3 : 3 :	実技:
時間	引数	32時間		週時間数		28	寺間
学習到	達目標	新しい環境に早く慣れ、様々な場また、基本的なビジネスマナーを				する。	
評価評価		学期末試験の実施及び実習成界 100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験 期末試験の結果、必要と認めら 成績評価は、A(80点~100点)( A、B、Cの評価は合格として単位	食によって行われ れる場合には追 優)、B(70点~7	ı、受験資格とし <sup>-</sup> 試験を実施する。 79点)(良)、C(6)	て授業実施の出席 。 0点~69点)(可)。	≸率80%以上: 、D(0点~59点	を要件としている。
使用	教材	配布プリント					
授業を		授業内容の復習。課題が出され	見が出された場合は自宅にて実施。				
744 HD		項目			内	容∙準備資料	笙
于州(	ターム	~ -			L)	古 牛腩具剂	' <del>च</del>
子規	<b>ターム</b> 1	クラス内でオリエンテーション		今後の目標等の	)設定、クラス運営		<del>च</del>
				今後の目標等の 事前準備			<del>च</del>
子期	1	クラス内でオリエンテーション					<u>च</u>
<b>学期</b>	1 2	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて		事前準備			<b>च</b>
子知	1 2 3	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて		事前準備			<b>T</b>
子规	1 2 3 4	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて バスハイクについて	つける	事前準備事前準備			<b>T</b>
授	1 2 3 4 5	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて バスハイクについて バスハイクまとめ		事前準備事前準備事前準備まとめ話し方、挨拶		雪について	
授業計	1 2 3 4 5 6	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて バスハイクについて バスハイクまとめ コミュニケーションの基本を身に		事前準備 事前準備 事前準備 まとめ 話し方、挨拶 現在の日本語を	の設定、クラス運営	禁遣い	
授業計画	1 2 3 4 5 6	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて バスハイクについて バスハイクまとめ コミュニケーションの基本を身にて 正しい日本語を身につける		事前準備 事前準備 事前準備 まとめ 話し方、挨拶 現在の日本語を	)設定、クラス運営 ・考える、正しい言 た心構え・話題の	禁遣い	
授業計	1 2 3 4 5 6 7 8	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて バスハイクについて バスハイクまとめ コミュニケーションの基本を身にて 正しい日本語を身につける 話すときの心構えを理解する		事前準備 事前準備 事前準備 まとめ 話し方、挨拶 現在の日本語を 聞き手を意識した	)設定、クラス運営 ・考える、正しい言 た心構え・話題の	禁遣い	
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて バスハイクについて バスハイクまとめ コミュニケーションの基本を身にで 正しい日本語を身につける 話すときの心構えを理解する 効果的な話し方を身につける		事前準備 事前準備 事前準備 まとめ 話し方、挨拶 現在の日本語を 聞き手を意識し 効果的な話し方	)設定、クラス運営 ・考える、正しい言 た心構え・話題の	禁遣い	
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて パスハイクについて パスハイクについて パスハイクまとめ コミュニケーションの基本を身にて 正しい日本語を身につける 話すときの心構えを理解する 効果的な話し方を身につける 面接について		事前準備事前準備まとめ話し方、挨拶現在の日本語を聞き手を意識しな効果的な話し方面接のポイントを	ご設定、クラス運営 ・考える、正しい言 た心構え・話題の を理解する	禁遣い	
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて バスハイクについて バスハイクまとめ コミュニケーションの基本を身にて 正しい日本語を身につける 話すときの心構えを理解する 効果的な話し方を身につける 面接について 自己分析		事前準備事前準備まとめ話し方、挨拶現在の日本語を聞き手を意識し、効果的な話し方面接のポイントを自己理解	ご設定、クラス運営 ・考える、正しい言 た心構え・話題の を理解する	禁遣い	
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて バスハイクについて バスハイクまとめ コミュニケーションの基本を身につ 正しい日本語を身につける 話すときの心構えを理解する 効果的な話し方を身につける 面接について 自己分析 自己PRを考える		事前準備 事前準備 事前準備 まとめ 話し方、挨拶 現在の日本語を 聞き手を意識し 効果的な話し方 面接のポイントで 自己理解 自己PRできるも	シ設定、クラス運営 ・考える、正しい言 た心構え・話題の を理解する のを考える	禁遣い	
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて バスハイクについて バスハイクまとめ コミュニケーションの基本を身につ 正しい日本語を身につける 話すときの心構えを理解する 効果的な話し方を身につける 面接について 自己分析 自己PRを考える 自己PR作成		事前準備 事前準備 まとめ 話し方、挨拶 現在の日本語を 聞き手を意識し 効果的な話し方 面接のポイントを 自己PRできるも 自己PR作成	ご 表える、正しい言 た 心構え・話題の を理解する のを考える	禁遣い	
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	クラス内でオリエンテーション 新入生ビジネスマナーに向けて バスハイクについて バスハイクについて バスハイクまとめ コミュニケーションの基本を身につ 正しい日本語を身につける 話すときの心構えを理解する 効果的な話し方を身につける 面接について 自己分析 自己PRを考える 自己PR作成 求職票受理面接対策 期末テスト		事前準備 事前準備 事前準備 まとめ 話し方、挨拶 現在の日本語を 動果的な話し方 面接のポイントで 自己PRできるも 自己PR作成 求職票受理面接	ご 表える、正しい言 た 心構え・話題の を理解する のを考える	禁遣い	

対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。

科	 目名	コミュニケー	 -ション論 T			 当者名	高田	明日香
	- L :経験		иш -		31 (3.3		実務経験:	77.2
里講	時期	後期		対象学	科学年		医療事務科1年	<u> </u> E
	方法	講義:〇			実		1	· !技:
			<b>伊</b>		天			1又:
P <del>1</del> 11	間数	32時間		週時間数		Ζ μ-	寺間 	
学習到	達目標	グループワークを通して、クラスに 求職票受理面接対策	内での意見交換	を実施。就職に「	向けコミュニケー <sup>、</sup>	ション能力を高め	める。	
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階部A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 実践行動学part2 プリント 授業外学習					00			
使用	<sup>実用教材</sup> プリント (************************************							
授業外学習 の方法 授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。								
学期	ターム	項目		内容-準備資料等				
T-761	17	実践行動学part2		Part1の振り返り	し、マジックドア1			
	18	実践行動学part2		マジックドア2・3				
	19	実践行動学part2		マジックドア4・5				
	20	実践行動学Part2		目標設定				
	21	求職票受理面接対策		求職票の書き方	Ī			
	22	求職票受理面接対策		面接の仕方・面	接の内容			
授 業	23	求職票受理面接対策		面接練習				
計	24	求職票受理面接対策		面接練習				
画	25	実践行動学part3		マジックドア1・2	2			
後 期	26	実践行動学part3		マジックドア3・4	ļ			
	27	実践行動学part3		マジックドア5				
	28	就職について		一般的なビジネ	スマナー			
	29	就職について		就職にあたって	の心構え			
	30	就職について		医療事務業務の	)確認			
	31	就職について		まとめ				
	32	期末試験						
履修上								

ン日本派 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。

科目	∃名	医療保障	<b>美事務1</b>		指導担	当者名	篠塚	琴惠	
実務	経験	首都圏の医療植	機関にて臨床検	査技師として業務	8に11年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年		医療事務科1年	<u> </u>	
授業	方法	講義:○	演	習:	実	習: 習:	実	 技:	
時間	間数	32時間		週時間数		28	寺間		
学習到	達目標	定実施。 全員が合格するまで実施する。		科医療事務管理士技能認定試験(11月受験予定)を目標に学習。※その他 療報酬算定の仕組みを理解し、幅広い基礎力を身に着ける。				か他奇数月に検	
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成男 100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 期末試験の結果、必要と認めら 成績評価は、A(80点~100点)( A、B、Cの評価は合格として単位	能によって行わ∤ れる場合には追 憂)、B(70点~	ı、受験資格として 試験を実施する。 79点)(良)、C(6)	て授業実施の出り の点~69点)(可)	席率80%以上。	を要件としている。		
使用	教材	医科テキスト2~4(算定とレセブ	ト上・下、トレーニングブック)、資料ブック、理解度チェック						
	朴学習 方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。							
学期	ターム	項目			内容·準備資料等				
	1	医療従事者としての基本と心構え 医療事務の仕事①~④	Ĺ	医療事務の基礎	<b>差知識</b>				
	2	初·再診		初・再診料の算定方法を学ぶ					
	3	投薬		投薬の仕組み・	算定方法を学ぶ				
	4	投薬		投薬の仕組み・	算定方法を学ぶ				
	5	注射		注射の算定方法	きを学ぶ				
	6	医学管理 在宅医療		医学管理·在宅	の算定方法を学	<i>ప</i>			
授	7	処置 リハビリテーション		処置・リハビリテ	ーションの算定を	 方法を学ぶ			
業計	8	手術麻酔		手術・輸血・麻酔	中の算定方法を学	<b>≐</b> ぶ			
画	9	検査		検査の種類、算	 定方法を学ぶ				
前期	10	検査 病理診断		検査のレセプトの	の書き方、病理診	診断の種類・算定	ニーニー 足方法を学ぶ		
	11	画像診断		画像診断の算定	 2方法を学ぶ				
	12	外来レセプト作成		外来レセプト作用	 龙練習				
	13	外来レセプト作成		外来レセプト作用	 龙練習				
	14	外来レセプト作成		外来レセプト作用	 龙練習				
	15	期末テスト、検定対策		期末テスト、検定	 E対策				
	16	要点確認、点検 医科医療事務技能認定試験 過	去問題		・再確認、点検の 「用して、演習・解				

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。

科	目名	医療保障	<b>贪事務2</b>		指導担	当者名	篠塚	琴惠
実務	経験	首都圏の医療板	機関にて臨床検	査技師として業務	8に11年間従事		実務経験:	有
開講	時期	前期		対象学	科学年		医療事務科1年	<u> </u>
授業	方法	講義:○	演	習:	実	習:	実	技:
時	間数	32時間		週時間数		28	寺間	
学習到	達目標	医療事務技能認定試験(9月受験 定実施。 全員が合格するまで実施する。 検定試験合格に向けて、医療保						り他奇数月に検
	i方法 i基準	学期末試験の実施及び実習成身 100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 期末試験の結果、必要と認められ 成績評価は、A(80点~100点)( A、B、Cの評価は合格として単位	検によって行わ∤ れる場合には追 優)、B(70点~	1、受験資格とし 試験を実施する。 79点)(良)、C(6	て授業実施の出。 。 0点~69点)(可)	席率80%以上。	を要件としている。	·
使用教材 医科テキスト2~4(算定とレセプト上・下、トレーニングブック)、資料ブック、問題集								
授業外学習 の方法 授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。								
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等	
	1	医療従事者としての基本と心構え 医療事務の仕事⑤~⑧	ζ	医療事務の基礎	<b></b> 控知識			
	2	初·再診		初・再診料の算定方法を学ぶ				
	3	投薬		投薬の仕組み・	算定方法を学ぶ			
	4	投薬		投薬の仕組み・	算定方法を学ぶ			
	5	注射		注射の算定方法	きを学ぶ			
	6	医学管理 在宅医療		医学管理•在宅	の算定方法を学			
授 業	7	処置 リハビリテーション		処置・リハビリテ	ーションの算定	方法を学ぶ		
計	8	手術麻酔		手術・輸血・麻酢	幹の算定方法を学	≛ぶ		
画	9	検査		検査の種類、算	定方法を学ぶ			
前 期	10	検査 病理診断		検査のレセプトの	の書き方、病理診	診断の種類・算定	≧方法を学ぶ	
	11	画像診断 放射線·精神科専門療法		画像診断•放射	線・精神科専門網	療法の算定方法	を学ぶ	
	12	外来レセプト作成		外来レセプト作り	<b>龙練習</b>			
	13	外来レセプト作成		外来レセプト作り	<b></b> 拔練習			
	14	外来レセプト作成		外来レセプト作り	<b></b> 拔練習			
	15	期末テスト、検定対策		期末テスト、検気	定対策			
	16	要点確認、点検 医科医療事務技能認定試験 過	去問題		・再確認、点検の 「用して、演習・解			

#### 履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。

科目	目名	レセプト	·実習1		指導担	当者名	篠塚	琴惠	
実務	経験	首都圏の医療機	機関にて臨床検	査技師として業務	8に11年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年		医療事務科1年	Ē	
授業	方法	講義:	演習	E:O	実習	T:O	実持	<del></del> 支:	
時間	間数	32時間		週時間数		2問	持間		
学習到	達目標	医療事務技能認定試験(9月受験 定実施。 全員が合格するまで実施する。 検定試験合格に向けて、医療保証						D他奇数月に検	
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成果 100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 期末試験の結果、必要と認められ 成績評価は、A(80点~100点)( A、B、Cの評価は合格として単位	食によって行われ れる場合には追 優)、B(70点~)	ı、受験資格として 試験を実施する。 79点)(良)、C(6	て授業実施の出 。 0点~69点)(可)	席率80%以上。	を要件としている。		
使用	教材	  医科テキスト2~4(算定とレセプ 	た上・下、トレー	下、トレーニングブック)、資料ブック、問題集					
	小学習 方法	授業内容の復習。課題が出される	た場合は自宅に	て実施。	実施。				
学期	ターム	項目			¢	容・準備資料	等		
	1	医療従事者としての基本と心構え 医療事務の仕事①~④	ζ	医療事務の基礎知識					
	2	初·再診		初・再診料のレー	セプト記入方法に	こついて学ぶ			
	3	投薬		投薬のレセプト	記入方法につい	て学ぶ			
	4	投薬		投薬のレセプト	記入方法につい	て学ぶ			
	5	注射		注射のレセプト	記入方法につい	て学ぶ			
	6	医学管理 在宅医療		医学管理·在宅	のレセプト記入フ	方法について学ぶ	2;		
授 業	7	処置 リハビリテーション		処置・リハビリテ	ーションのレセス	プト記入方法につ	いて学ぶ		
計画	8	手術麻酔		手術・輸血・麻酢	枠のレセプト記入	方法について学	'స్		
	9	検査		検査のレセプト	記入方法につい	て学ぶ			
前期	10	検査 病理診断		検査・病理診断	のレセプト記入プ	方法について学ぶ	5%		
	11	画像診断		画像診断のレセ	プト記入方法に	ついて学ぶ			
	12	外来レセプト作成		外来レセプト作り	<b>龙練習</b>				
	13	外来レセプト作成		外来レセプト作り	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	14	外来レセプト作成		外来レセプト作り	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	15	期末テスト、検定対策		期末テスト、検ス	定対策				
	16	要点確認、点検 医科医療事務技能認定試験 過	去問題	各項目の要点を再確認、点検の要点を学ぶ 過去問題集を使用して 演習・解説					

科	■名	レセプト実	習2		指導担	当者名	篠塚	琴惠	
実務	経験	首都圏の医療機関	にて臨床検	査技師として業務	8に11年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年		医療事務科1年	Ē	
授業	方法	講義:	演習	T:O	実習	1:0	実	<del></del> 支:	
時	間数	32時間		週時間数		2	時間		
学習到	達目標	定実施。 全員が合格するまで実施する。			能認定試験(11月受験予定)を目標に学習。※その他る を理解し、幅広い基礎力を身に着ける。				
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成果の 100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験に。 期末試験の結果、必要と認められる 成績評価は、A(80点~100点)(優)、 A、B、Cの評価は合格として単位を認	よって行われ 場合には追 . B(70点~)	ι、受験資格として 試験を実施する。 79点)(良)、C(60	て授業実施の出り の点~69点)(可)	席率80%以上、D(0点~59)	-を要件としている。	)	
使用	l教材	医科テキスト2~4(算定とレセプト上	・下、トレー	ニングブック)、資	【料ブック、問題 類	Į.			
	小学習 方法	授業内容の復習。課題が出された場	合は自宅に						
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	<b>斗等</b>		
	1	医療従事者としての基本と心構え 医療事務の仕事5~8		医療事務の基礎	<b>差知識</b>				
	2	初•再診		初・再診料のレセプト記入方法について学ぶ					
	3	投薬		投薬のレセプト記	記入方法について	て学ぶ			
	4	投薬		投薬のレセプト記	記入方法について	て学ぶ			
	5	注射		注射のレセプト記	記入方法について	て学ぶ			
	6	医学管理 在宅医療		医学管理·在宅	のレセプト記入方	法について学	±\$		
授	7	処置 リハビリテーション		処置・リハビリテ	ーションのレセフ	プト記入方法に	ついて学ぶ		
業計	8	手術		手術・輸血・麻酔	ゆのレセプト記入:	方法について	学ぶ		
画	9	検査		検査のレセプト記	記入方法について	て学ぶ			
前 期	10	検査 病理診断		検査・病理診断(	のレセプト記入方	法について学	<u>-</u> કં		
	11	画像診断		画像診断のレセ	プト記入方法に	ついて学ぶ			
	12	外来レセプト作成		外来レセプト作品	<b>龙練習</b>				
	13	外来レセプト作成		外来レセプト作品					
	14	外来レセプト作成		外来レセプト作品	<b>龙練習</b>				
	15	期末テスト、検定対策		期末テスト、検定	<b>E</b> 対策				
	16	要点確認、点検 医科医療事務技能認定試験 過去問	問題	各項目の要点を再確認、点検の要点を学ぶ 過去問題集を使用して、演習・解説					
履修上			式験の受験	資格を与えない					

科目	]名	医療関道	車法規1		指導担	当者名	松川	美香
実務	経験	調剤薬局に2年間、行政	数の保険者点検	業務、医療事務	講師を8年5ヶ月「	間従事	実務経験:	有
開講	時期	前期		対象学	科学年		医療事務科1年	Ē
授業	方法	講義:○	演	· 習:	実	필· ====================================	実	技:
時間	間数	32時間		週時間数		2時	寺間	
学習到	達目標	検定実施。 基本的に全員が合格するまで実	施する。	E科医療事務管理士技能認定試験(11月受験予定)を目標に学習。※その何 目みや種類、医療法などについて学ぶ。				の他奇数月に
学期末試験の実施及び出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価する。 期末試験は筆記試験により行い、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件とする。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階評価A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								
使用教材 テキスト1 医療保障制度、医療事務管理士技能認定試験過去問題集 授業外学習 授業内容の復習、課題が出された場合は自宅にで実施。								
授業外学習								
学期	ターム	項目		内容・準備資料等				
	1	医療保険のしくみ		医療保障制度				
	2	医療保険のしくみ		医療保険の種類・被保険者証の見方				
	3	保険給付のしくみ		保険給付の範囲・種類、給付割合と患者負担割合、高額療養費				
	4	保険給付のしくみ		保険外併用療養	<b></b>			
	5	その他医療保障制度		公費負担医療制	制度の概要、生活	保護法、難病法	<u> </u>	
	6	その他医療保障制度		感染症法、労災	保険、自賠責保	 険		
授 業 計	7	その他医療保障制度		介護保険				
計画	8	演習		過去問題				
	9	演習		過去問題				
前 期	10	演習		過去問題				
	11	演習		過去問題				
	12	演習		過去問題				
	13	演習		過去問題				
	14	演習		過去問題				
	15	期末テスト		期末テスト				
	16	検定対策		検定対策				

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。

科目	目名	医療	用語		指導担	当者名	高田	明日香	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	前期		対象学	科学年	Ī	医療事務科1年	<b>F</b>	
授業	方法	講義∶○	演習	:O	実 <sup>i</sup>	習:	実	技:	
時間	<b>引数</b>	32時間		週時間数		2時	間		
学習到	達目標	医療事務技能認定試験に出題さ	事務技能認定試験に出題される医療用語を中心に学び、就職先で必要となってくる基礎的な医療用語の知			<b>戦を習得する</b> 。			
評価方法 評価基準 使用教材		学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、 00点満点で評価している。 明末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。 明末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階評価とする。 A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
使用	教材	課題プリント配布、その他各自で	資料準備						
授業外学習									
学期	ターム	項目			内	容•準備資料	等		
7 791	1	医療事務技能認定試験に出題さいて	事務技能認定試験に出題される用語につ 各項目ごとの用語について説明						
	2	病院用語、疾患名、カルテ用語等	<del></del>	用語プリント課題	夏(テキスト2に関	する用語)			
	3	病院用語、疾患名、カルテ用語等	÷	用語プリント課題	頭(テキスト2に関	する用語)			
	4	病院用語、疾患名、カルテ用語等	÷	用語プリント課題	夏(テキスト2に関	する用語)			
	5	病院用語、疾患名、カルテ用語等	÷	用語プリント課題(テキスト2に関する用語)					
	6	病院用語、疾患名、カルテ用語等	<b></b>	用語プリント課題	夏(テキスト3に関	する用語)			
授	7	病院用語、疾患名、カルテ用語等	<del>手</del>	用語プリント課題	夏(テキスト3に関	する用語)			
業計	8	病院用語、疾患名、カルテ用語等	<b></b>	用語プリント課題	夏(テキスト3に関	する用語)			
画	9	病院用語、疾患名、カルテ用語等	<del></del>	用語プリント課題	夏(テキスト3に関	する用語)			
前 期	10	病院用語、疾患名、カルテ用語等	<b></b>	用語プリント課題	夏(略語に関する	用語)			
	11	病院用語、疾患名、カルテ用語等	<del></del>	用語プリント課題	夏(略語に関する	用語)			
	12	病院用語、疾患名、カルテ用語等	<del>手</del>	用語プリント課題	夏(略語に関する	用語)			
	13	カルテの読み取り		実際のカルテを	見ながら、医療月	用語や略語を読む	み取る		
	14	カルテの読み取り		実際のカルテを	見ながら、医療月	用語や略語を読る	み取る		
	15	期末テスト対策		期末テスト対策					
	16	期末テスト		期末テスト	ー 未テスト				
履修 F (	の留音点	5							

ン日本派 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。

					1				
科目	目名	文書作	成実習		指導	算担当者名	古川	美恵子	
実務	経験	OA機器会社にインストラクタ	ーとして17年間	勤務、後ウィンド 	ウズのアプリケ-	ーション指導に従事	実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	医组织	療事務科1年		
授業	方法	講義:〇	演習	∄:◎	57	実習:○	実持	技:◎	
時間	間数	64時間		週時間数		4時間(1~16	ターム)		
学習到	達目標	ビジネス文書の作成・編集は元。 基礎知識を確認しながら、学習記 Word文書処理技能認定試験3級	十画を立てること	:により、出題範囲				'を身に付ける。	
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成 100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 期末試験の結果、必要と認めら 成績評価は、A(80点~100点) A、B、Cの評価は合格として単位	検によって行われれる場合には追 優)、B(70点~	ı、受験資格とし 試験を実施する。 79点)(良)、C(6	て授業実施の出 。 0点~69点)(可	席率80%以上を要件。 )、D(0点~59点)(不可	としている。	<b>晒とする</b> 。	
使用教材 Word2021クイックマスター基本編、Word文書処理技能認定試験3級問題集 授業外学習 の方法 授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。									
		授業内容の復習。課題が出され	た場合は自宅に	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
学期	ターム	項目				内容•準備資料等			
学期 9	1	Chapter1、2		Wordの基本操作	<b>†</b>				
	2	Chapter3	文書の編集						
	3	Chapter4		文書の印刷					
	4	Chapter5		文書の作成					
	5	Chapter6		表を使った文書	の作成				
	6	Chapter7		図形や画像を使	でった文書の作成	t .			
授	7	練習問題		練習問題1~3					
業 計 画	8	模擬問題		模擬問題1~2					
前	9	模擬問題		模擬問題3~4					
期	10	模擬問題		模擬問題5~6					
	11	模擬試験		模擬試験					
	12	模擬試験		模擬試験					
	13	模擬試験		模擬試験					
	14	模擬試験		模擬試験					
	15	模擬試験		模擬試験					
	16	期末試験		期末試験					
履修上									

体み時間中にpcを設置しておき授業に臨むこと 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する

科目	1名	プレゼンテー	−ション実習		指導担	当者名	太田	光則		
実務	経験	情報分野·	を含めた企業コ	コンサルタント会	社を経営		実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年		医療事務科1年	<u>:</u>		
授業	方法	講義:	演 <sup>:</sup>	習:	実習	¹:O	実持	支:		
時間	引数	64時間		週時間数		4用	<b>持間</b>			
学習到	達目標	マイクロソフトPowerPoint操作方 ビジネスユースにあったプレゼン た、9月に行われる、「PowerPoir	テーションを自ら	実践出来るよう	にするため、スラ	イド作成能力と	プレゼン実践力を	・身に付ける。ま		
評価評価		点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試駅 果、必要と認められる場合には近 成績評価は、A(80点~100点)	険によって行われ 自試験を実施する ) (優)、B(70点	ι、受験資格として る。 ~79点)(良)、C	て授業実施の出版 C(60点~69点)	第率80%以上を (可)、D(0点~	要件としている。	期末試験の結		
使用	教材	PowerPoint 2021クイックマスター	-基本編、Powe	対象学科学年 医療事務科1年  演習: 実習:〇 実技:     週時間数 4時間  ・ゼンテーション技法を学び、 ・音ら実践出来るようにするため、スライド作成能力とプレゼン実践力を身に付ける  試験初級」の取得を目指す。  ・ 出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験のである。  の点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階評値とし、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。  ・						
授業を	↑学習 5法	授業内容の復習。課題が出され	た場合は自宅に							
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等			
学期(	1	プレゼンテーション概要		プレゼンテーションの必要性						
	2	パワーポイントの基礎知識		パワーポイントの画面構成・操作						
	3	プレゼンテーション作成		スライドの作成フ	方法 保存方法	他				
	4	プレゼンテーションの構成とデザイ	ン 文字の編集	スライドの構成	文字表現					
	5	オブジェクトの作成		図形・表・クリップ	プアートの利用と	作成				
	6	自己紹介 スライド作成実習		【自分オリジナル	ノ】自己紹介スライ	イド作成				
授 業	7	表示効果とハイパーリンク		画面切り替え効	果とアニメーショ	ン				
計	8	スライドショーの実行		スライドショーの	実行操作•自動	実行				
画	9	自分の好きな場所 までの地図を	スライドで作成	【自分オリジナル	ノ】 地図スライド	作成				
前 期	10	テーマカスタマイズ スマートアー		テーマのカスタマ	マイズ					
	11	グラフの追加・図の加工 プレゼ	ン動作設定	スライドへ図の記	追加 セクション語	设定等				
	12	グラフの追加・図の加工 プレゼ	ン動作設定	スライドへ図の記	追加 セクション語	设定等				
	13	期末テスト・検定試験に向けて		検定試験 過去	問題					
	14	期末テスト・検定試験に向けて		検定試験 過去	問題					
	15	期末テスト・検定試験に向けて		検定試験 過去	問題					
	16	期末テスト		期末テスト						
履修上(	修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。									

科目	目名	医療保障	険事務3		指導担	!当者名	篠塚	琴惠
実務	経験	首都圏の医療	機関にて臨床検	査技師として業務	8に11年間従事		実務経験:	有
開講	時期	後期		対象学	科学年		医療事務科1年	<u> </u>
授業	方法	講義∶○	演	習:	実	習:	実持	 技:
時間	間数	36時間		週時間数		4時	· 持間	
学習到	達目標	医療事務技能認定試験(9月受験 定実施。 全員が合格するまで実施する。 検定試験合格に向けて、医療保						の他奇数月に検
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成 100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 期末試験の結果、必要と認めら 成績評価は、A(80点~100点)( A、B、Cの評価は合格として単位	検によって行われれる場合には追し 優)、B(70点~7	ι、受験資格とし <sup>っ</sup> 試験を実施する。 79点)(良)、C(6	て授業実施の出 。 0点~69点)(可	席率80%以上を	を要件としている。	0
使用	教材	医科テキスト2~4(算定とレセフ	プト上・下、トレー:	ニングブック)、資	<b>資料ブック、問題</b>	集 集		
	小学習 方法	授業内容の復習。課題が出され	た場合は自宅に	て実施。				
学期	ターム	項目			Þ	P容·準備資料	等	
	17	前期復習		外来レセプト作り	· 或			
	18	要点確認、点検 医科医療事務技能認定試験 過		各項目の要点を 過去問題集を使	: 再確認、点検の : 用して、演習・角	)要点を学ぶ <b></b> 解説		
	19	要点確認、点検 医科医療事務技能認定試験 過		各項目の要点を 過去問題集を使	·再確認、点検σ	)要点を学ぶ		
	20	放射線•精神科専門療法		放射線·精神科	専門療法のレセ	プト記入方法につ	ついて学ぶ	
	21	入院料		入院料の算定力	法を学ぶ			
	22	入院料		入院料の算定力	5法を学ぶ			
授 業	23	入院レセプト作成		入院レセプト作り	<b>龙練習</b>			
計	24	入院レセプト作成		入院レセプト作り	<b>龙練習</b>			
画	25	期末テスト、入院レセプト作成		期末テスト、入院	<b>売レセプト作成練</b>	習		
後 期	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
	31							
	32							

科目	1名	レセプト	-実習3		指導担	当者名	篠塚	琴惠
実務	経験	首都圏の医療	機関にて臨床検	査技師として業務	8に11年間従事		実務経験:	有
開講	時期	後期		対象学	科学年	I	医療事務科1年	<u>:</u>
授業	方法	講義:	演習	P:O	実習	<b>:</b> O	実	· 支:
時間	引数	36時間		週時間数		4時	<b>持間</b>	
学習到	達目標	医療事務技能認定試験(9月受験 定実施。 全員が合格するまで実施する。 検定試験合格に向けて、医療保						り他奇数月に検
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成 100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 期末試験の結果、必要と認めら 成績評価は、A(80点~100点) A、B、Cの評価は合格として単位	検によって行われれる場合には追 優)、B(70点~	ı、受験資格とし <sup>*</sup> 試験を実施する。 79点)(良)、C(6	て授業実施の出 。 0点~69点)(可)	席率80%以上を	を要件としている。	
使用	教材	医科テキスト2~4(算定とレセン	『ト上・下、トレー	ニングブック)、資	<b>資料ブック、理解</b> り	度チェック		
授業を		授業内容の復習。課題が出され	た場合は自宅に	て実施。				
学期	ターム	項目			<b>₽</b>	容•準備資料	等	
7 70	17	前期復習		外来レセプト作り	戉			
	18	要点確認、点検 医科医療事務技能認定試験 過	3.去問題	各項目の要点を 過去問題集を使				
	19	要点確認、点検 医科医療事務技能認定試験 過	3去問題	各項目の要点を 過去問題集を使	再確認、点検の 用して、演習・角			
	20	放射線•精神科専門療法		放射線·精神科	専門療法のレセ	プト記入方法につ	ついて学ぶ	
	21	入院料		入院料の算定力	5法を学ぶ			
	22	入院料		入院料の算定力	5法を学ぶ			
授 業	23	入院レセプト作成		入院レセプト作り	<b></b>			
計	24	入院レセプト作成		入院レセプト作り	<b></b>			
画	25	期末テスト、入院レセプト作成		期末テスト、入院		習		
後 期	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
	31							
	32							

科目名		医療関連法規2			指導担当者名		松川 美香	
実務経験		調剤薬局に2年間、行政の保険者点検業務、医療事務			講師を8年5ヶ月間		実務経験:	有
開講時期		後期		対象学科学年		医療事務科1年		
授業方法		講義: 演習		I:O	実習:		実技:	
時間数		18時間		週時間数	2時間			
学習到達目標		医療事務技能認定試験(9月受験予定)医科医療事務管理士技能認定試験(11月受験予定)を目標に学習。※その他奇数月に検定実施。 基本的に全員が合格するまで実施する。 検定試験合格に向けて、医療保険の仕組み・医療費計算・診療報酬明細書の作成方法を学ぶ。						
評価方法 評価基準		学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価する。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上が要件。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点)(優)、B(70点~79点)(良)、C(60点~69点)(可)、D(0点~59点)(不可)、の4段階評価とする。 A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。						
使用教材		テキスト1 医療保障制度、医療事務管理士技能認定試験過去問題集						
授業外学習 の方法		授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。						
学期	ターム	項目		内容·準備資料等				
授業計画 後期	17	医科管理士技能認定試験に向けて 学科(法規)過去問題等の演習、解説、補足等		過去問題演習·解説				
	18	医科管理士技能認定試験に向けて 学科(法規)過去問題等の演習、解説、補足等		過去問題演習·解説				
	19	医科管理士技能認定試験に向けて 学科(法規)過去問題等の演習、解説、補足等		過去問題演習·解説				
	20	医科管理士技能認定試験に向けて 学科(法規)過去問題等の演習、解説、補足等		過去問題演習・解説				
	21	医科管理士技能認定試験に向けて 学科(法規)過去問題等の演習、解説、補足等		過去問題演習・解説				
	22	医科管理士技能認定試験に向けて 学科(法規)過去問題等の演習、解説、補足等		過去問題演習・解説				
	23	医科管理士技能認定試験に向けて 学科(法規)過去問題等の演習、解説、補足等		過去問題演習・解説				
	24	医科管理士技能認定試験に向けて 学科(法規)過去問題等の演習、解説、補足等		過去問題演習・解説				
	25	期末試験						
履修上(	の留意点	į						

ン日本派 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。